



2012 ナゴヤ ドッジビー フェスティバル

報告書

平成 24 年 9 月 14 日



【大会概要】

名 称	「テトラパックわくわくチャレンジカップ」 2012 ナゴヤドッチビーフェスティバル
日 程	平成 24 年 9 月 9 日 日曜日
時 間	9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0
会 場	日本ガイシホール・日本ガイシスポーツプラザ 第 2 ・ 3 競技場 名古屋市市南区東又兵エ町 5 - 1 - 1 6 TEL : 052-614-3120
天 候	晴れ
主 催	日本ガイシスポーツプラザ
共 催	日本ドッチビー協会
後 援	日本フライングディスク協会
協 力	愛知県フライングディスク協会
特別協賛	日本テトラパック株式会社
協 賛	子どもスポーツフェスタ実行委員会 / 株式会社ヒーロー / 株式会社クラブジュニア / 株式会社ビューティフルライフ

【全体タイムスケジュール】

9 : 3 0 ~ 9 : 4 5	開会式・諸注意事項説明
10 : 1 0 ~ 1 2 : 2 0	AM試合 (10 : 1 0 第 1 試合スローオフ)
12 : 2 0 ~ 1 3 : 1 0	昼食・休憩
13 : 1 0 ~ 1 5 : 3 0	PM試合 (15 : 2 0 最終試合スローオフ)
15 : 3 0 ~	表彰式・閉会式

【競技方法】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| ①小学生低学年／レディース／障がい者部門 | 総当たりリーグ戦 |
| ②小学生高学年／一般部門 | 予選リーグ、決勝トーナメント戦 |

【参加チーム 一覧】 合計	41チーム	522名	
①小学生低学年の部（1～3年）	5チーム	70名	
ガンバルキッズ		13	名古屋市 守山区
アタックファイターズ		16	名古屋市 瑞穂区
苗代Smile		12	名古屋市 守山区
アクトスフェニックスジュニアⅠ		12	大府市
JDC 子猿		17	知多市
②小学生高学年の部（4～6年）	10チーム	143名	
ゆめフル たけとよ		16	知多郡 武豊町
新知ファンタオレンジ		13	知多市
STN		16	名古屋市 守山区
苗代Victory		13	名古屋市 守山区
西小チョッパーズ		15	新城市
Fire Kids①		14	稲沢市
Fire Kids②		15	稲沢市
アクトスフェニックスジュニアⅡ		11	大府市
JDC ボス猿		17	知多市
山那夢（ドリームズ）		13	丹羽郡
③一般の部	17チーム	188名	
新知ファンタジスタ		11	知多市
D-1 アクロス・ザ・ユニバース		11	尾張旭市
風神		9	知多市
チャイルドライク		11	名古屋市 守山区
チキン南蛮		11	京都府
Team Boon		10	知多市
桜ウィンズ		12	名古屋市 南区
ASO はミタ		10	名古屋市 守山区
はぐれASO純情派		10	名古屋市 守山区
Shiny ASO		10	名古屋市 守山区
SUN DC		15	江南市
旭北 スター坊主		11	知多市
BIG チョッパーズ		13	新城市

アクトスフェニックス	12	大府市
JDC お達者クラブ	13	知多市
TEAM 匠	10	丹羽郡
TEAM らんらん	9	丹羽郡

④レディースの部 6チーム 68名

新知夜叉姫	10	知多市
プリティーフラワー	13	名古屋市 守山区
半田 FDC 48	13	半田市
ASO 月組	10	名古屋市 守山区
アクトスフェニックスレディース	10	大府市
ミヤビーナ	13	知多市

⑤障がい者の部 3チーム 52名

愛知県立半田養護学校桃花校舎	16	大府市
半田 FDC	18	半田市
春日台クラブ	18	春日井市

【最終成績】

小学生低学年の部 (1~3年)	優勝	ガンバルキッズ	(守山区)
	準優勝	JDC 子猿	(知多市)
	3位	苗代 Smile	(守山区)
小学生高学年の部 (4~6年)	優勝	JDC ボス猿	(知多市)
	準優勝	苗代 Victory	(守山区)
	3位	STN	(守山区)
一般の部	優勝	新知ファンタジスタ	(知多市)
	準優勝	風神	(知多市)
	3位	D-1 アクロス・ザ・ユニバース	(尾張旭市)
レディースの部	優勝	新知夜叉姫	(知多市)
	準優勝	ASO 月組	(守山区)
	3位	ミヤビーナ	(知多市)
障がい者の部	優勝	半田 FDC	(半田市)
	準優勝	県立半田養護学校桃花校舎	(大府市)
	3位	春日台クラブ	(春日井市)

【講 評】

9月に入り1週間が過ぎるも、連日真夏日を記録する気温が続く中、当日も朝から快晴となり気温上昇が確実な天候の中、愛知県内における最大規模のドッチビー複合大会であるナゴヤ ドッチビー フェスティバルがおこなわれました。



本大会は日本ガイシ スポーツプラザの指定管理者である財団法人 名古屋市教育スポーツ協会が主催者となり、実質的な競技運営を愛知県フライングディスク協会がおこなう形で2010年より開催されています。



3回目の開催となる今回、日本ドッチビー協会経由で特別協賛社によるスポンサーが決定したことから、大会史上初となる冠大会となり、特別協賛社である日本テトラパック株式会社の社会貢献プロジェクト事業の名称であるわくわくチャレンジを大会名の冠に配して「テトラパック わくわくチャレンジカップ 2012 ナゴヤ ドッチビー フェスティバル」として実施されました。



大会の実施内容と会場レイアウトは、メイン競技である「ディスクドッチ」をタレントのコンサートでも使用される日本ガイシホール メインアリーナに4面のコートを確保して全5部門の全てを実施。



また、日本ガイシ スポーツプラザ第2競技場では「ドッチディスタンス」の公式記録会を。



さらに同会場では日本テトラパックより参加者全員に参加賞として配られたオリジナルデザインのミニディスク「フリッピー」の講習会がディスクメーカーで

ある株式会社ヒーローの提供で実施されるという、正に複合大会と銘打つにふさわしい充実したものとなっていました。



9:00の受付開始時には続々と参加者が到着し、大会エントリーの確認と参加賞を受取り、控え場所となる観客席へと向かう。



観客席（2F）ロビーには、

日本テトラパック提供のドリンク交換とアンケート回収ブースが設置されるとともに、協賛社である株式会社クラブジュニアのドッチビー関連グッズの販売コーナー、および株式会社ビューティフルライフによるウォーターサーバーの紹介とオリジナルタンブラー作成のブースが設置されるなど、競技以外の要素も盛りだくさんで、終日楽しめる環境が設定されていました。



9 : 30、開会式、
まず主催者を代表し日本ガイシ スポーツプラザ
安藤館長の挨拶、
続いてアナンウンスによる協賛会社名紹介の後、



協賛会社を代表して
日本テトラパック(株)桑田さんの挨拶、
その後、愛知県フライング
ディスク協会 竹内事務局長による
競技上の諸注意があり、開会式は
終了となりました。



試合は全5部門でおこなわれましたが、その傾向を見
ますと他に類がない特徴として最大人数を集めている
部門が一般部門であることです。

小学生の時に始めて、現在も継続的におこなっている
と思われる年代層や子どもの親として接したことが、
きっかけで自らも選手となった親世代が2大パターン

であると思われます。

また、もうひとつの特徴と
いえるのはレディース部門、
障がい者部門が成立してい
る点にあると言え、両部門
が毎年、継続的に成立して
いることからドッチビーの浸透度の深さと広さが窺えます。



地域的な傾向としては、名古屋市守山区と知多市から
ほとんどの部門において複数チームが参加、また大府
市からは各1チームですが全部門にエントリーして
いることから、これらの地域においては、地元完全に
根付いていると言っても過言ではない。ものと考え
られます。

その他、県内各地からチームが集っており、実質的に「県大会」と言える規模
になっている大会と言えます。

参加チーム一覧は前述3ページ、大会の結果は4ページをご参照ください。

試合は滞りなく進行、予定通り 15 : 30 より表彰・閉会式がおこなわれました。主催の日本ガイシ スポーツプラザの安藤館長より表彰状が、協賛会社を代表して日本テトラパックの皆さまより、各協賛会社様から提供された各種副賞が贈られ、入賞チームは満面の笑みを見せていました。



表彰式終了後、引き続き閉会式がおこなわれ、愛知県フライングディスク協会寺田会長より大会講評が述べられ、本大会開催にあたり審判やスタッフおよびボランティアへの感謝する気持ちを忘れずに。との話にて大会は締め括られ、無事に終了しました。



予定されたプログラムがすべて終了した後、最後に参加者・スタッフを含めた全員の集合記念写真を撮ることにりましたが、かなりの人数であるため並びきれず、場内整理にスタッフが困り果てて・・・は御愛嬌でした。

